

『生駒市水道事業ビジョン（案）』に係るパブリックコメント前の報告」の説明資料

## 1 生駒市水道事業ビジョン

生駒市の水道は、昭和6年4月に給水を開始して以降、大規模な宅地開発事業等による急激な人口の増加、市民の生活向上による水需要の増加に対応できるよう水道施設の拡張事業を行ってきました。

しかし、平成25年度をピークに人口が減少に転じ節水機器の普及もあわせて、今後は、水需要の減少による給水収益の減少がさらに進むことが見込まれます。また、これまで整備された多くの水道施設等や水道管が今後大量に更新の時期を迎えることや、地震等の災害から水道施設を守るための耐震化対策など投資的経費の増加が見込まれ、水道事業を取り巻く環境は一層厳しさを増し、より効率的、安定的な経営が求められているところです。

厚生労働省では、給水人口や給水量の減少、大震災の経験を踏まえた危機管理の見直しなど、水道事業を取り巻く環境の大きな変化に対応するため、平成25年3月に「水道ビジョン」を改定し「新水道ビジョン」が策定されました。また、奈良県では、平成31年3月に県域水道一体化を目標とした「新県域水道ビジョン」が策定されました。

こうしたなか、生駒市では、平成22年5月に策定した「生駒市水道ビジョン」を改定し、厚生労働省及び奈良県の方針を踏まえ、「安全」、「強靱」、「持続」を基本目標にした「生駒市水道事業ビジョン」を策定しました。あわせて、「生駒市水道事業ビジョン」では、50年後、100年後を見据え、将来にわたって安定的に事業を継続していくための「経営戦略」の考え方を踏まえた具体的な施策を示しています。

## 2 策定スケジュール

- (1) 生駒市水道事業ビジョン着手について市議会で報告（令和2年8月）
- (2) 生駒市水道事業ビジョン案の作成（令和2年8月～同年11月）
- (3) 生駒市水道事業ビジョン案のパブリックコメントの実施について市議会で報告（令和2年12月）
- (4) 生駒市水道事業ビジョン案のパブリックコメントを実施（令和3年1月13日～同年2月12日予定）
- (5) 生駒市水道事業ビジョン策定を市議会で報告（令和3年3月予定）

## 3 生駒市水道事業ビジョン（案）

生駒市水道事業ビジョン(案) を参照

●配布資料 生駒市水道事業ビジョン(案) [参考資料1]生駒市水道ビジョンの内部評価 [参考資料2]水道事業に関するアンケート調査結果報告書 [参考資料3] 生駒市水道事業ビジョン概要版(案) [参考資料4] パブリックコメントの実施に係るチラシ